

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生物多様性地域戦略推進事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内の多様な自然環境、市民	意図	市内における生物多様性の保全と持続可能な利用。
事業内容	「生物多様性ながれやま戦略」に基づき、重点拠点のモニタリング調査を行うとともに、グリーンフェスティバル等で生物多様性の大切さについて啓発を行う。平成25年度は、「グリーンウェイブ」で公共施設に植樹を行ったほか、公益財団法人日本財団の助成を受け、NPO法人地球の緑を育てる会の主催により「まちなか森づくりプロジェクト」として、下花輪福祉会館、クリーンセンター、小・中学校等、市内5か所で10,400本の苗木の植樹を行った。			
事業開始から現在までの状況変化	平成20年5月に生物多様性基本法が成立。この法律に基づき平成22年3月に本市独自の「生物多様性ながれやま戦略」（50年戦略）を策定。 生物多様性に関する情報公開の場としてシンポジウム等を開催。 平成23年7月から基盤情報整備の為にモニタリング調査を実施。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		生物多様性の意味について理解している市民の割合	24.50	22.50	24	%	↑↑↑
指標で表すことができない定性的な成果	生物多様性情報の共有・蓄積、活動団体の連携強化。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成22年3月に策定した「生物多様性ながれやま戦略」に基づき、モニタリング調査の実施、グリーンウェイブ（植樹事業）、グリーンフェスティバルでの啓発等を行っている。 3年間に渡って得られた貴重なモニタリング結果については、平成26年度に報告書として取りまとめ、ながれやま戦略の見直し等に反映させる。 また、ながれやま戦略策定から5年という節目のイベントとして「流山カントリーウォーク」を開催する。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		6,660,314	11,439,647	5,888,238			
事業費(b)(円)		2,114,714	7,132,847	1,696,038			
うち一般財源		2,114,714	7,132,847	1,696,038			
職員給与費(c)(円)		4,545,600	4,306,800	4,192,200			
人役・職員(人)		0.60	0.60	0.60			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価		継続（事業を現状どおり継続すべき）				
		コストの削減		A 削減の余地はない		

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H25)の改善計画	情報発信の方法、継続的なモニタリングの実施による情報の構築	取り組みの課題	市民団体との連携、モニタリング調査の分析、報告
今年度(H25)に実施した取り組み	市民団体との協働によるイベントの開催（グリーンフェスティバル、おたかの森探検ツアー、まちなか森づくりプロジェクト）及び継続的なモニタリングの実施	今後の改善計画	モニタリング調査によって得られた情報をまとめ、以降の戦略推進に繋げる。また、市民団体との連絡を密に行い、一層の普及に向けた協力体制を構築する。